



歯科医師コラム 2



VOL.4 「歯の色」や「白さ」が人によって違う理由

H28.8

「歯の色」や「白さ」というのは、肌や髪の色と違い人種や性別でそれほど違いはありません。

とくに最近になり、白い歯は健康的の象徴と世界中で認められるようになってきました。

では、なぜ歯は黄ばんだり汚れたりしてみえるのでしょうか？

歯を黄色くしてしまう原因は主に3つあります。

ひとつめは、歯の表面にコビリ付く歯石やステインのような汚れです。

赤ワインや紅茶、緑茶などを口にする機会が多い方ほどその傾向にあります。汚れを歯科衛生士さんに適切なクリーニングしてもらうことでその多くは解決できます。そして、ホワイトニングをすることでより歯を白く見せることも可能になっています。

ふたつめは、年齢や噛み癖などによって歯が削れたり薄くなったりする場合があります。

歯は薄くなったり小さくなる黄色い部分が露出してきてしまうのです。年齢による歯の黄ばみの多くはこれに当たります。

みつめは、治療された材料が変色している場合です。

この場合には、残念ながら再治療することでしか歯を白くできません。

最近では、歯のクリーニングやホワイトニングで、より歯を強化し汚れが付きにくい材料が技術も開発されています。

そういった意味からも、「白い歯」を守ることが健康の象徴であることは正解なのです。





プレミアムデンタルケア 恵比寿・代官山 院長:高井基普

E-MAIL info@premium-dc.com TEL 03-3780-5599



【院長略歴】

平成10年 岡山大学歯学部卒業

平成19年 UCLA Center of Aesthetic ショートタームフェロー

平成19年 東京ミッドタウンデンタルクリニック院長就任

平成23年 プレミアムデンタルケア恵比寿・代官山 開業

現在に至る

